2023-2024
RI テーマ
世界に希望を生み出そう

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　2023.10.3　No.2680

TAKEFU WEEKLY

創　立／1954 年（昭和 29 年）6 月 30 日
事務局／〒915-8522　越前市塚町 101　武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333　E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
例会日／毎週火曜日　例会場／武生商工会館
会　長／宮本　俊　幹　事／橋本　勝利
会報委員長／鎌谷　孝之

第 3265 回 例 会 記 録 令和 5 年 9 月 26 日(火)

本日出席会員　29 名
メークアップ(前々回)　10 名
出席率(前々回補正)　86.96%
ロータリーソング「我らの生業」

会員総数 46名

副会長挨拶　副会長　三村　昌之

皆さんこんにちは。
さて、9 月の例会も今日で最終となります。今日の例会は皆さんが炉辺会合で話し合った結果の発表になります。テーマは「I serve・We serve」についてということで、今までに無いかなり難しいテーマとなりました。ロータリーの教科書を探しても、載っていないキーワードでネット上でもわずかにしか出てこないので、調べるのに苦労された責任者・発表者の方が多かったのではと思います。敦賀ロータリークラブの刀根荘兵衛さんが調べてもＩ serve という言葉が見当たらなかったとも言っています。「Serve」の日本語訳には、仕える・勤務する・勤める・役目を果たす、役に立つ、食事を出す、服役するなどがあるそうですが、奉仕をするという意味では、議論をされた皆さんのご批判を受ける覚悟で私見を話せば、Ｉ serve・We serve のどちらでも良くて、ライオンズクラブに張り合う必要も無いしどちらも大事だと思っている次第です。個人個人で奉仕の意味を考えなさいという崇高なロータリーの考えは大事でしょうが、人それぞれ、社長さん方の集まるロータリアンの中には　個人でできない行動や奉仕など無いとも言えますが、団体でやると参加できるという性格の人もいると思うのです。また大勢で一緒に汗を流す奉仕をすることで連帯感が生まれるし、今まで知り合えなかった会員同士の個性も分かり合える良い機会だと思います。

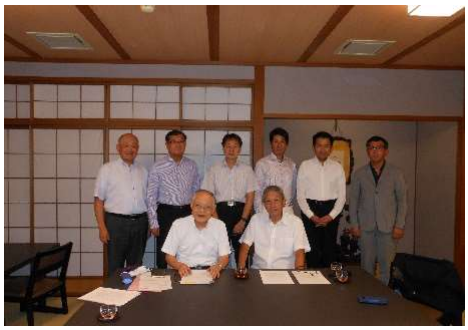
プログラム

炉辺会合報告
「I serve・We serve について」

【1 班】日時：9 月 1 日 18：00～　場所：うおとめ
責任者：内藤義介　発表者：上野　巌
参加者：宮前貴司、有定静子、土田康博

今回のテーマは、若い人への啓発。来年の事業につながると思います。奉仕を一人で行うのか、皆で行うのか。一般的には、I serve は、ロータリークラブ、We serve はライオンズクラブが旨としていた。日本が頑なにＩ serve を唱える人がいる、Ｉ serve こそがロータリーの真髄だと。しかし最近Ｉ serve・We serve は言わなくなり職業奉仕を通じて社会奉仕をする、社会奉仕の理念の意見が出てきました。結局、Ｉ serve の精神を忘れずに We serve をしているのではないか。個人が一生懸命やることにより皆につながる。そして、実際に行動を起こすときは皆でやっている。今回のテーマはロータリーの歴史を学ぶために出された課題ではないか。毎月の例会に出ること自体がＩ serve であり、それが We serve のスタイルになっていく。そのことが自分の人生を豊かにする。まずは、会員一人ひとりがロータリークラブの活動を実践していくことが大事で、ロータリーの発展につながるように思われます。

【2 班】日時：9 月 8 日 18：00～　場所：うおとめ
責任者：奥村　忠　発表者：鎌谷孝之
参加者：佐々木忠彦、田中大成、矢尾主成、柿谷好彦
　　杉本正一、岡田与士正



ロータリーは、初め親睦・友愛があり、職業奉仕が生まれ、社会奉仕に成長、国際奉仕となった。さらにクラブ奉仕、青少年奉仕が加わり、五大奉仕となりました。これらを貫く思想を奉仕の理想と呼んでいます。(1923 年セントルイス国際大会で決議)　つまりロータリーは「親睦の中から奉仕の理想を生みだす集団」といってよい。また、ロータリーの倫理原則は、「最もよく奉仕する者､最も多く報いられる。」であります。I serve という言葉は､「職業奉仕の大切さを解くために、後世、日本的解釈が付与されたものであろう。」とされています。ここで、職業奉仕の理念＝I serve であることは間違いない。宇部ロータリークラブの会長の言葉､「ライオンズクラブが奉仕活動を行う時は、「我々は奉仕する(We Serve)」を基本としています。すなわちクラブ全体でまとまって一つの事業に基金を拠出し、原則として個人個人では奉仕しません。これに対しロータリークラブでは、組織的な奉仕活動も沢山ありますが、基本的には「会員一人ひとりが奉仕活動の単位」です。すなわち､「私は奉仕する(I serve)」、又は「I serve, but not We serve」、つまり「自己の責任と判断において、職業奉仕など 5 大奉仕をしよう」という考え方が基本となっています。」
そこから意見交換がはじまりました。
「自分の仕事を一生懸命やればいい！それが社会の為になる！」

【3 班】日時：9 月 6 日 18：00～　場所：うおとめ
責任者：米岡房直　発表者：河合洋典（代理）
参加者：市川隆成、田中　茂、野田義弘、井上常宏

最初に、米岡座長より、刀根荘兵衛ガバナーの資料を引用し問題提起。
【野田会員】I serve と We serve の区別がつかなくなっている。職業を通じて利益を上げ、健全に経営し社会に貢献できるようにしている。個々で努力するものだ。【市川会員】I serve や We serve という表現はない。結局 I serve は個人奉仕、We serve は集団奉仕という定義は日本で作られた英語ということ。【田中会員】We serve はもともとライオンズクラブのスローガンであるが、対語としての I serve はロータリークラブというのは間違いで、ロータリークラブではもともと I serve なる言葉はないと言われている。【井上会員】I serve、We serve のことはあまり知らないできた。I serve（職業奉仕)が大切とされ､事業活動を通じて奉仕するものと言われ悩んだ時期がありました。対外的にロータリー活動の紹介をしていくためにも、きちんと押さえていく必要があると思います。

終わりに【田中会員】から 2650 地区で職業奉仕の委員を長年務めて、各クラブで卓話をして周り学習を深めてきました。ロータリークラブが I serve という言葉を使いだしておかしくなった。現在のライオンズクラブの綱領の資料と私たちロータリークラブの「四つのテスト」と道徳規定はほとんど同じである。（一同驚きました。）I serve していけばよいと以前から言われてきたが現在では意味がない言葉ではないか、世代は交代していくものであり、ロータリークラブの活動も変わってきています。

※４班と５班は追って掲載させていただきます。

ニコニコ箱・・・43,000 円　累計　　450,000 円

・宮本会長お休みです。よろしくお願いします。
【三村昌之】
・炉辺会合報告ご苦労様です【河合敏一】【田中大成】
・炉辺会合発表よろしくお願いします。
【宮前貴司】【橋本勝利】【鷲田文枝】
・早退させていただきます。【矢尾主成】
・ちょっと【西野昌美】【小泉義廣】
・発表させていただきます【上野　巌】【渡辺岳史】
・やっと涼しくなりました。
体調管理に気をつけましょう。【有定静子】
・結婚記念日自祝　9 月 28 日は金婚式です。皆様のおかげと感謝です。【桶谷三枝子】
・炉辺会合発表がんばります。【鎌谷孝之】
・結婚記念日自祝　無事今日まで過ごせている事に感謝です。ありがとうございます【杉本正一】
・遅参し申し訳ございませんでした。【谷尾準一】
・ちょっと良いことがありました。【土田康博】
・毎回皆様にご無理を言いまして申し訳ありません。
【田中　茂】

本日(10 月 3 日)の例会	10 月 10 日	10 月 17 日	10 月 24 日→26 日
第一例会行事/ゲスト卓話 「未来につながる福井の伝統工芸」 伝統工芸室長　田島正強氏	米山奨学生卓話 「私の国～マレーシアについて」 林　子揚（リム，ジ　ヤン)さん	休　会	ガバナー公式訪問